

# 情報連絡員総括表（2023年4月）

## — 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI 値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI 値の推移（グラフ）

### ・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI 値は基準値  $\pm 0.0$ (=横ばい)で推移  
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 （回答者数 59 名：回収率 98.3%）

○2023年4月のDI 値は、前月との比較において、「販売価格」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の4指標が悪化した。原材料や資材、エネルギー価格等の高騰により悪化していた「収益状況」は前月との比較において好転した一方、今以上の価格転嫁は難しいことから公共料金の値下がりに期待するとの声もあった。

○「製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」「収益状況」「資金繰り」の3指標が改善し、「取引条件」「業界の景況」の2指標が横ばい、その他4指標が悪化した。特に「在庫数量」では前月から16.7ポイント改善し、DI 値は0.0ポイントとなった。  
 一方で、輸送用機械器具製造業からは「売上げが減少した企業が増加している」とコメントが寄せられた。

○「非製造業」では、前月との比較において、「取引条件」「収益状況」を含む4指標が改善した。コロナ感染症の収束に伴いヒトとモノの動きが活発化しつつあるが、働き方改革関連法により月60時間を超える時間外労働に対する割増賃金率が増加したことに加え、運送業界などでは2024年4月から時間外労働の制限が適用されることから、人件費増加や人員不足が課題とされている。総合工事業から「運送業の問題がこれから大きく影響してくることは避けられない」とコメントがあるなど他業界にも不安感が広がっている。

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2023年4月	-6.8	-2.3	27.1	-3.3	-18.7	-15.2	-30.0	-20.3	-25.4
2023年3月	-6.9	9.1	36.3	-8.6	-34.5	-25.9	-10.0	-12.1	-24.1
増減	0.1 ↑	-11.4 ↑	-9.2 ↓	5.3 ↑	15.8 ↑	10.7 ↑	-20.0 ↓	-8.2 ↓	-1.3 ↓

## 2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2023年4月	-20.0	-6.7	ポイント	↘	6.9	6.9	ポイント	↑	-6.8	0.1	ポイント	↑
	2023年3月	-13.3				0.0				-6.9			
在庫数量	2023年4月	0.0	-16.7	ポイント	↑	-7.1	0.0	ポイント	-	-2.3	-11.4	ポイント	↑
	2023年3月	16.7				-7.1				9.1			
販売価格	2023年4月	23.3	-13.3	ポイント	↘	31.1	-4.6	ポイント	↘	27.1	-9.2	ポイント	↘
	2023年3月	36.6				35.7				36.3			
取引条件	2023年4月	-13.3	0.0	ポイント	-	6.9	10.5	ポイント	↑	-3.3	5.3	ポイント	↑
	2023年3月	-13.3				-3.6				-8.6			
収益状況	2023年4月	-26.6	13.4	ポイント	↑	-10.4	18.2	ポイント	↑	-18.7	15.8	ポイント	↑
	2023年3月	-40.0				-28.6				-34.5			
資金繰り	2023年4月	-23.4	13.3	ポイント	↑	-6.9	7.4	ポイント	↑	-15.2	10.7	ポイント	↑
	2023年3月	-36.7				-14.3				-25.9			
設備操業度	2023年4月	-30.0	-20.0	ポイント	↘					-30.0	-20.0	ポイント	↘
	2023年3月	-10.0								-10.0			
雇用人員	2023年4月	-23.4	-13.4	ポイント	↘	-17.3	-3.0	ポイント	↘	-20.3	-8.2	ポイント	↘
	2023年3月	-10.0				-14.3				-12.1			
業界の景況	2023年4月	-33.3	0.0	ポイント	-	-17.2	-2.9	ポイント	↘	-25.4	-1.3	ポイント	↘
	2023年3月	-33.3				-14.3				-24.1			

## 今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況		
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化	
製造業	食料品	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	2	0	0
	繊維工業	1	0	0	1	2	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
	木材・木製品	0	4	2	1	1	3	0	3	0	4	0	3	0	4	0	2	0	4
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	印刷	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	窯業・土石製品	0	2	1	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0
	鉄鋼・金属工業	1	3	0	0	1	1	0	1	0	2	0	2	0	1	0	1	0	3
	一般機器	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	2	0	1	0	2
	電気機器	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	輸送用機器	3	1	1	1	1	0	1	0	3	2	1	1	2	0	0	1	2	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1		0	0	0	1	
	小売業	2	1	1	1	3	2	0	2	0	3	0	2		0	2	0	2	
	商店街	0	2	1	1	4	1	0	1	0	3	0	2		0	1	0	2	
	サービス業	1	0			1	0	0	0	1	0	1	0		0	2	2	0	
	建設業	2	2			2	0	2	0	2	2	1	1		1	0	1	2	
運輸業	3	1			2	0	3	0	3	1	2	0		0	1	1	1	2	

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年にも廃業が相次いでいたが、今年に入りまた2件の水産加工業者の廃業があり、今後の業界衰退が懸念される。</li> <li>・取引先への価格交渉、新規取引先の開拓等の営業努力が実を結んできた。しかしながら相変わらずのインフラコスト増に収益は圧迫され続けている。販売価格への転嫁も限界があるので、電力費やガス代の値下がりに期待する。</li> </ul>
パン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前よりパンの移動販売車での販売事例はあったが、コロナ禍では外出機会が減り生活圏の近くに来てくれる移動販売ニーズが高まった。投資コストも安く商業施設、スーパー、マンション、オフィス街、観光地等、目的や時期に合わせて出店を選ぶことが出来る。パンは商品単価が高すぎず定期的な購買ニーズがあることから需要は高まることが期待される。</li> </ul>
織物業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注は比較的堅調に推移してきたが、コロナで生産能力が減少しそれを立て直す力がない。加えて織屋も高齢化に伴い今期も減少が続く。</li> </ul>
骨材・石工品等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上が前年より大幅に落込み、収益が厳しくなっている事業所がある。</li> </ul>
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー・原材料の高騰により、著しく収益率が悪化している。</li> <li>・売値値上げにより取引条件が改善。原材料高の影響により収益率が悪化した。製品増産が内示されたものの減産傾向にあり、在庫数が増加した組合員がある。また、賃金増も価格反映が遅れ、収益を圧迫している組合員がある。</li> </ul>
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の業界は原材料価格の高騰による製品価格の値上げにより金額規模は増加したが、生産規模は減少した。</li> <li>・大型冷蔵庫は販売減少に伴い生産も減少している。</li> <li>・家庭用エアコンは部材調達問題はほぼ解消して需要シーズンに向けて生産は増加している。</li> <li>・業務用エアコンは国内・海外向け共に堅調に推移している。</li> </ul>
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上げが減少した組合員企業が増加している。</li> <li>・全体的には受注量が増えているが、半導体関連部品の調達が安定しておらず生産調整への影響は企業ごとにバラツキが出ている。先々の見通しは不透明な中で取り組む課題は多岐にわたっており人材確保が共通の課題となっている。</li> </ul>

## 非製造業

セメント卸売業	・公共・民間工事共に動きは低調に推移、4月としては最低の取扱数量となった。
各種商品卸売業	・運送費、光熱費、人件費、材料費等のモノの値段が上がっている中、一部の大手顧客が汎用品ではない、オリジナル商品に対する適正値上げを頑として認めてくれない現状がある。
鮮魚小売業	・前月同様、売上は前年度を上回ったものの、原材料等の高騰により収益状況は依然として厳しかった。また、高齢化や後継者不在による廃業も数件あった。組合員企業の人材難が深刻化しており今後の業界景況が非常に不安である。
各種商品小売業	・地元サッカーチームのホームゲームの際におもてなし企画を実施している。スポーツを通して商店街活性化を出来ないか模索中。雰囲気はとても良い。
	・子ども教室を開催した。人数は限られているが、参加者に体験したことを覚えてもらい、今後商店街のファンになってほしい。 商店街内の展示イベントが好評で、来街者も増加傾向である。このまま、店舗の売り上げ増加を期待したいが、仕入れ価格の上昇に伴う販売価格の上昇で、消費者の買い控えもみられる。
	・市内の観光客の入りもコロナ前の2019年比で8～9割との報告があった。物価高やエネルギー高がなければ、もう少し消費につながると思う。
宿泊業	・組合員旅館の宿泊人員は、前年比で101.0%と若干改善したが、令和元年度比では53.6%と引き続き厳しい状況が続く。但し、外国人の宿泊者が前年0人に対し555人となり回復の動きが見え始めた。雇用状況は引き続き人手不足の状況が続く。
	・全国旅行支援キャンペーンの終了と人手不足による売り止め等で宿泊客数が減少し、経費コストも上昇していることから、収益を圧迫している状況となっている。人手不足が喫緊の課題であり、早急な対策が必要とされる。
総合工事業	・新年度に入り製品の値上げと今後の値上げ予定の発表が有り、いつまで続くか分からない状況。東部地区では建築資材の値上げにより営業マンからの見積り依頼ばかりが増え、成約には結びつかない。
	・物件内容が良かったため売り上げや販売価格が好転したが、業界全体としてはあまり良くないように思える。2023年4月1日からの中小企業の残業の割り増し率の増加に加え2024年運送業の問題がこれから大きく影響してくることは避けられない。色々な組合等で連携を取り影響を最小限に押えて頂きたい。
職別工事業	・昨年からの繁忙感は少し落ち着きを見せているが、相変わらず人手不足により価格の安定が続いている。昨年同時期に比べ、資材・労務費の上昇はあるものの、おむね契約には転嫁できている。
道路貨物運送業	・4月1日から、月60時間超の時間外労働に対する時間外割増賃金率が25%から50%に上がり、このため、トラック運送業界でもトラックドライバーへの報酬を増やす必要にせまられ、人件費の増加に繋がった。2024年問題の更なる制約を控え、鉄道輸送への振り替えや人材確保を進める事業者が増えている。また、物価の上昇に伴い、日用品も値上がりし、消費者の買い控えと節約志向が販売数量に影響を与え、物流の減少にも繋がっている。
	・2024年問題に関して理解のある荷主の運賃上昇により売上の増加があった。運賃の上昇により、従業員の給与を上げる方針。 軽油の値段が原油先物の価格が下がっているにも関わらず低下しない。
道路旅客運送業	・前年同月比では輸送人員・運送収入とも増加しているが、コロナ前との比較では24ポイントのマイナスになっている。年間運送収入の比較では昨年を13ポイント上回ったものの、コロナ前に比べると27ポイントのマイナスになっており、午後や夜間の需要回復が遅れていることもあり依然として厳しい経営状況が続いている。

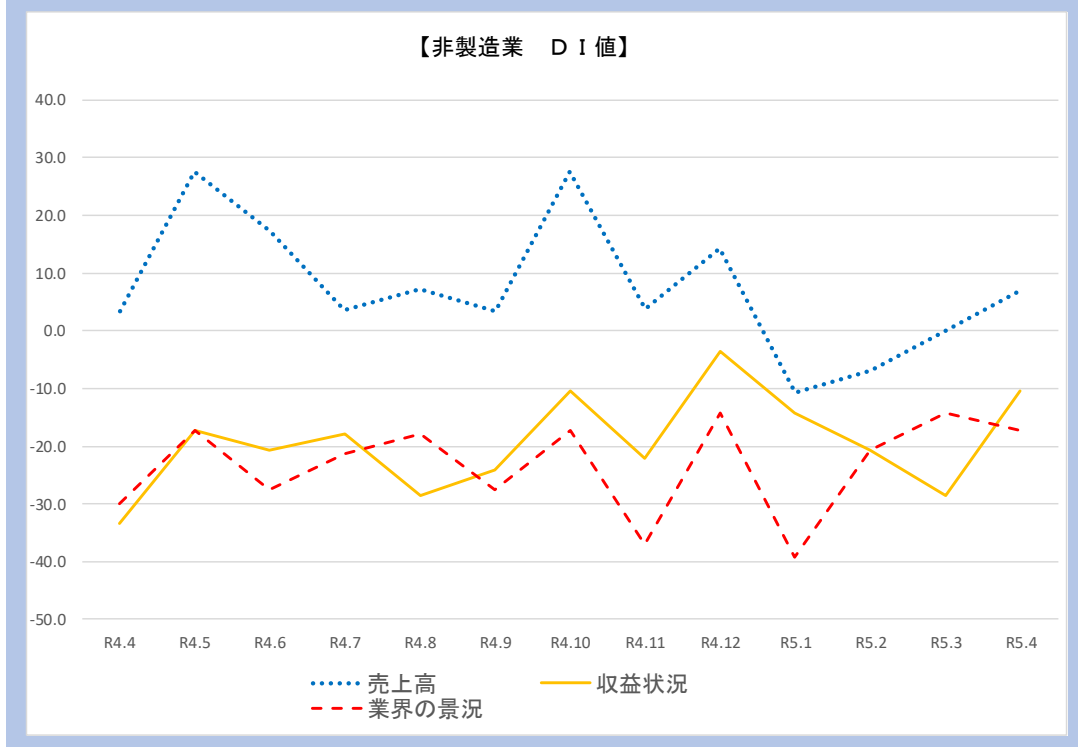
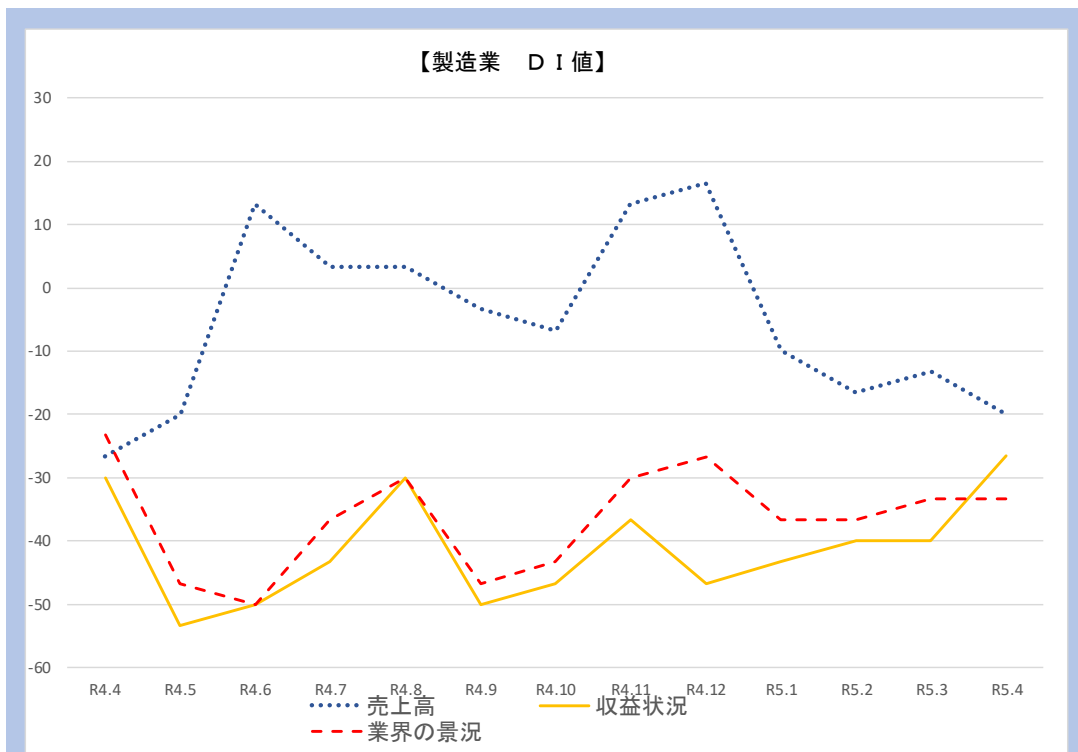
## 4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2022年4月期～2023年4月期までの推移

全体	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4
売上高	-11.7	3.4	15.3	3.5	5.2	0.0	10.2	8.8	15.5	-10.3	-11.9	-6.9	-6.8
収益状況	-31.7	-35.6	-35.5	-31.0	-29.3	-37.2	-28.9	-29.9	-25.9	-29.3	-30.5	-34.5	-18.7
業界の景況	-26.7	-32.2	-39.0	-29.3	-24.1	-37.3	-30.5	-33.4	-20.7	-38.0	-28.8	-24.1	-25.4

製造業	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4
売上高	-26.6	-20.0	13.3	3.3	3.3	-3.3	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0
収益状況	-30.0	-53.4	-50.0	-43.3	-30.0	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6
業界の景況	-23.3	-46.7	-50.0	-36.6	-30.0	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6	-33.3	-33.3

非製造業	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4
売上高	3.3	27.6	17.3	3.5	7.1	3.4	27.6	3.7	14.3	-10.7	-6.9	0.0	6.9
収益状況	-33.3	-17.2	-20.7	-17.8	-28.5	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4
業界の景況	-30.0	-17.2	-27.6	-21.4	-17.8	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2



■ 2022年4月期～2023年4月期までの推移

売上高	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4
製造業	-26.6	-20.0	13.3	3.3	3.3	-3.3	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0
非製造業	3.3	27.6	17.3	3.5	7.1	3.4	27.6	3.7	14.3	-10.7	-6.9	0.0	6.9

収益状況	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4
製造業	-30.0	-53.4	-50.0	-43.3	-30.0	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6
非製造業	-33.3	-17.2	-20.7	-17.8	-28.5	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4

業界の景況	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4
製造業	-23.3	-46.7	-50.0	-36.6	-30.0	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6	-33.3	-33.3
非製造業	-30.0	-17.2	-27.6	-21.4	-17.8	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2

